

(例文)

当院における人工股関節全置換術両側同時施行例の検討

田村 治郎¹⁾, 川那辺圭一¹⁾, 中村 孝志¹⁾, 飯田 寛和²⁾

当院において人工股関節全置換術を両側同時に施行した症例を左右片側ずつ2回の手術で施行した症例と比較検討を行った。

対象および方法 ←(1行とみなす)

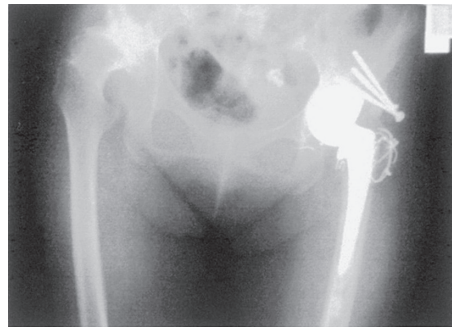
1998年5月より2000年4月までに当院で施行された両側同時施行人工股関節全置換術は7症例(14股), 男性1例, 女性6例, 平均年齢59歳。1例は骨頭壊死で他は変形性股関節症(OA)であった。片側ずつ施行した症例は11症例(22股), 女性11例, 平均年齢55歳。全例OAであった。両側例のうち2股, 片側ずつ例のうち3股は再置換術であった。全例側方アプローチ(Dall's approach)にて臼蓋側大腿側ともにセメント固定を行った。また両側例のうち12股, 片側ずつ例のうち16股に骨移植を併用した。全例自己血貯血(両側例1200ml, 片側例各800ml)と術中回収式自己血輸血を併用した。使用人工関節は両側例にてKobelco(K-Max)8股, Kyocera(KC, Type 6)6股, 片側ずつ例にてKobelco(K-Max)19股, Kyocera(KC, Type 6)3股であった。調査項目として入院期間, 入院中保険点数, 手術時間, および総出血量(術中, 術後)を選んだ。片側ずつ例では2回の手術, 入院の総和を求め, これらを両側同時手術例と比較, 統計はt-testを用いて検定を行った。

症 例

両側同時施行例. 61歳女性, 変形性股関節症。左股関節はバイポーラー手術後であり骨頭のmigrationをきたしたため右人工股関節置換術と同時に左人工股関節再置換術を施行, 右大腿骨頭を移植骨として左再置換術に用いた。左股にはケルブールプレートおよび人工骨(AW)も併用した(図1)。

結 果

両側同時施行例, 片側ずつ例ともに全例同種血輸血は行わなかった。また, ともに術中術後の合併症



a



b

図1 症例 61歳 女性 両側同時施行例
a 手術前 b 手術後

(1行あけてください)

入院期間, 保険点数, 手術時間ともに両群間に有意差を認めた。再置換術症例を除き, primaryのみとした両側同時例5症例, 片側ずつ例9例の比較においても, 同様に入院期間, 保険点数, 手術時間において有意差を認めた(表2)。術後のリハビリは両側同時例においてその初期において遅れる例もあったが全体の入院期間は平均で64%に短縮した。

Comparison between simultaneous and staged bilateral total hip replacement : Jiro TAMURA et al. (Department of Orthopaedic Surgery, Faculty of Medicine, Kyoto University)

1) 京都大学医学部整形外科学教室 2) 関西医科大学整形外科学教室

Key words : Hip replacement/total, Osteoarthritis, Cost effectiveness

表1 調査項目結果 (Revision含む)

	両側同時(7)	片側ずつ(11)	
入院期間 (日)	64	100	*
保険点数	419,898	484,156	*
手術時間 (分)	300	358	*
出血量 (ml)	2114	2072	NS

*p<0.05, NS; not significant
(1行あけてください)

表2 調査項目結果 (Revision含まず)

	両側同時(5)	片側ずつ(9)	
入院期間 (日)	57	96	*
保険点数	409,147	465,045	*
手術時間 (分)	294	347	*
出血量 (ml)	2138	1958	NS

*p<0.05, NS; not significant
(1行あけてください)

考 察

我々の調査した結果として両側同時施行股関節置換術の利点として、短い入院期間 (64%), 少ないコスト (87%) が挙げられると考えられた。一方その欠点として1回の手術侵襲が大きくなる事が考えられる。ほかの発表との比較を表3, 4に示す。谷らの

表3 他国の発表との比較—入院期間 (日)

	両側同時	片側ずつ
日本 (本発表)	57	96
日本 ¹⁾	76	117
アメリカ ²⁾	8	15
イギリス ³⁾	17	23

表4 他国の発表との比較—コスト (円)

	両側同時	片側ずつ
日本 (本発表)	4,091,470	4,650,450
日本 ¹⁾	5,100,000	5,500,000
アメリカ ²⁾	2,551,102	3,010,824
イギリス ³⁾	985,800	1,187,200

1\$=106円で円に換算

発表と比較して我々の発表はほぼ同様の結果を得た。アメリカ, イギリスとの比較は保険制度の差もあり一概に論じられないが, いずれも同時施行例において入院期間の短縮, 低コストを認めた。

ま と め

人工股関節置換術を両側同時に実施することにより場合により後療法の初期が遅れる例もあったが全体では入院期間は64%に短縮, コストは87%となった。患者にとって長期入院のストレスも軽減され, 合併症の少ない症例に対しては良い適応があると考えられた。

文 献 (引用順)

- 1) 谷 知久, 大橋俊郎, 長谷川正裕, 他. 人工股関節全置換術両側同時実施例の検討. 第94回中部日本整形外科災害外科学会 1999.
- 2) Ruben JD, Meyers SJ, Cox DD, et al. Cost comparison between bilateral simultaneous, staged, and unilateral total joint arthroplasty. J Arthroplasty 1998 ; 13 : 172-179.
- 3) Alfaro-Adrian J, Bayona F, Rech JA et al. One- or two-stage bilateral total hip replacement. J Arthroplasty 1999 ; 14 : 439-445.